

社会福祉法人うるま市社会福祉協議会
令和2年度事業報告

《総括》

少子高齢化の急速な進行による人口減少や家族形態の変化、地域における相互扶助機能の低下や地縁の希薄化を背景とする、ひきこもり、生活困窮世帯の増加、孤独死、虐待、自殺など社会的孤立に起因した複合的な生活課題が深刻化するなど我々を取巻く生活状況は大きく変化してきました。

加えて、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大という未曾有の事態により人々の命と健康を守るための対策が次々と打ち出される中、終息の見えない不安を抱えた多くの市民が、社会・経済活動の停止により雇用や家計に影響を受け生活福祉資金貸付事務事業の申請に殺到しました。また、既存の制度やサービスの提供だけでは解決が難しい新たな支援を必要とする人の相談支援や社会的孤立の解消、「密」の回避・ソーシャルディスタンスの確保が求められる中で新たな生活様式と地域での支え合いを地域住民とともに模索した一年となりました。

本会の使命である、地域共生社会の実現のための「第3次うるま市地域福祉活動計画」に基づいた福祉教育や地域での居場所づくりの推進についても、コロナ禍におけるあり方を手探りしながらの取組みとなり、多くの事業が中止、延期を余儀なくされました。その中にもあっても地域主体の実施可能な支え合い活動に向けた勉強会3地区開催を始め、企業や住民からの食糧支援・見守り活動への参画など、支援の輪の拡大による居場所活動のバックアップ体制の充実など、新たな支え合いの形が見えた一年ともなりました。

また法人財政基盤については、総務課の職員体制の強化と広報（社協だより、HP等）の充実を図りつつ取組みを推進した結果、戸別会費に成果を見ることができました。

以下、令和2年度の事業実績について報告します。

2 実施事業

(1) 法人運営事業 《自主事業》

ア 理事会・評議員会・監査の実施	事業形態	自主事業
	主な財源	社協会費
	サービス区分	法人運営事業
実施内容	<p>1 組織運営に関する事項</p> <p>(1) 理事会</p> <p>①第1回理事会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 令和2年6月2日(火) ・場 所 うるま市健康福祉センターうるみん ・参加者 理事13名 監事2名 <p>※議案審議結果 全議案とも原案どおり決議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 平成31年度事業報告の承認について ・議案第2号 平成31年度決算報告の承認について ・議案第3号 令和2年度第1回資金収支補正予算について ・議案第4号 定款の変更について ・議案第5号 職制規程の一部改正について ・議案第6号 給与規程の一部改正について ・議案第7号 令和2年度第1回評議員会(平成31年度に係る定時評議 	

員会)の開催日時、場所及び議事に付すべき事項について

② 第2回理事会

- ・期 日 令和2年8月25日(火)
- ・場 所 招集手続きの省略による開催
- ・同意書 理事・監事全員より同意書の申出あり
(理事14名 監事2名)

※議案審議結果 全議案とも原案どおり決議(同意)

- ・議案第8号 就業規則の一部改正について
- ・議案第9号 給与規程の一部改正について

③ 第3回理事会

- ・期 日 令和2年10月23日(金)
- ・場 所 うるま市健康福祉センターうるみん
- ・参加者 理事12名 監事2名

※ 議案審議結果 議案第10号については議決保留となり、他の議案については原案どおり決議

- ・議案第10号 給与規程の一部改正について(保留)
- ・議案第11号 非常勤職員、パートタイマー等就業規則の全部改正について
- ・議案第12号 定款施行細則の制定について
- ・議案第13号 事務決裁規程の制定について

④ 第4回理事会

- ・期 日 令和3年2月5日(金)
- ・場 所 招集手続きの省略による開催
- ・同意書 理事・監事全員より同意書の申出あり
(理事14名 監事2名)

※議案審議結果 議案第14号及び議案第15号については不同意、議案第16号及び議案第17号については同意を得た。

- ・議案第14号 就業規則の一部改正について(不同意)
- ・議案第15号 給与規程の一部改正について(不同意)
- ・議案第16号 令和2年度第2回資金収支補正予算について
- ・議案第17号 令和2年度第2回評議員会の開催日時、場所及び議事に付すべき事項について

⑤ 第5回理事会

- ・期 日 令和3年3月16日(火)
- ・場 所 うるま市健康福祉センターうるみん
- ・参加者 理事13名 監事1名

※ 議案審議結果 全議案とも決議(一部修正あり)

- ・議案第18号 就業規則の一部改正について
- ・議案第19号 給与規程の一部改正について
- ・議案第20号 介護保険事業所就業規則の一部改正について
- ・議案第21号 令和2年度第3回資金収支補正予算について
- ・議案第22号 令和3年度事業計画について
- ・議案第23号 令和3年度収支予算について
- ・議案第24号 事務局長の解任及び選任について
- ・議案第25号 令和2年度第3回評議員会について

・報告事項 会長の職務執行の状況について

(2) 評議員会

① 第1回評議員会（定時評議員会）

- ・期 日 令和2年6月19日（金）
- ・場 所 招集手続きの省略による開催
- ・同意書 評議員全員より同意書の申出あり（評議員29名）

※ 議案審議結果 全議案とも原案どおり決議（同意）

- ・議案第1号 平成31年度事業報告の承認について
- ・議案第2号 平成31年度決算報告の承認について
- ・議案第3号 令和2年度第1回社会福祉事業区分資金収支補正予算について
- ・議案第4号 定款の変更について

② 第2回評議員会

- ・期 日 令和3年2月22日（月）
- ・場 所 招集手続きの省略による開催
- ・同意書 評議員全員より同意書の申出あり（評議員28名）

※ 議案審議結果全議案とも原案どおり決議（同意）

- ・議案第5号 令和2年度第2回資金収支補正予算について

③ 第3回評議員会

- ・期 日 令和3年3月23日（火）
- ・場 所 招集手続きの省略による開催
- ・同意書 評議員全員より同意書の申出あり（評議員28名）

※ 議案審議結果全議案とも原案どおり決議（同意）

- ・議案第6号 令和2年度第3回資金収支補正予算について
- ・議案第7号 令和3年度事業計画について
- ・議案第8号 令和3年度収支予算について

(3) 評議員選任・解任委員会

開催なし

(4) 業務監査の実施

- ・期 日 令和2年5月20日（水）
- ・場 所 うるま市健康福祉センターうるみん
- ・監 事 伊波 守・山根 晃
- ・参加者 会長以下事務局長ほか職員

(5) 管理職会議等の開催

① 役員及び管理職会議の開催（正副会長及び局長課長）

- ・令和2年4月6日から令和2年10月12日まで毎週月曜日開催
- ・場 所 健康福祉センターうるみん
- ・開催数 24回（代表的な内容ピックアップ）
- ・協議事項 理事会・評議員会上程議案
主要行事の実施に関すること
働き方改革の導入に向けての諸規程の整備について

効果	関係機関・団体、地域住民で構成する理事・評議員・監事により、社協運営と必要な事業を実施するため、地域の福祉ニーズや福祉サービスを利用する地域住民等の声を法人の運営に反映させた。
----	--

イ 役員職員研修の実施		事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金	
	サービス区分	法人運営事業	
実施内容	<p>①期 日：令和2年7月28日（火） 内 容：働き方改革関連法の理解と実務対応について 参加者：会長、課長 講 師：社労士法人 クローバー 特定社会保険労務士 比嘉正人氏</p> <p>②期 日：令和2年8月20日（木）～令和2年11月26日（木） 全8回 内 容：職場のメンタルヘルス対策勉強会 参加者：会長、3課長 講 師：沖縄県産業保健総合支援センター メンタルヘルス対策促進員 関谷 綾子氏</p>		
効果	働き方改革の推進に向けた考え方や体制整備に必要な具体的な変更点などを学び、導入となる令和3年度に向けて関係規程の改正など備えることができた。また、職場の安全衛生対策について学び、心の健康づくり計画を策定、職場における安全衛生体制を整備するとともに休職者の復職支援プログラム、産業医の導入など法人として必要な基盤整備を行うことができた。		

《実施内容》		事業形態	自主事業
ウ うるま市社会福祉大会の実施			
	主な財源	共同募金配分金	
	サービス区分	社会福祉大会事業	
実施内容	新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止。		
効果	効果なし		

エ うるま市福祉まつりの実施		事業形態	自主事業
	主な財源	市補助金 共同募金配分金	
	サービス区分	福祉まつり事業	
実施内容	新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止。		
効果	効果なし		

オ 関係機関・団体との連絡調整及び委員会等の設置		事業形態	自主事業
	主な財源	—	
	サービス区分	—	

実施内容	新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、必要な各種関係機関・団体との連絡調整を行った。
効果	コロナ禍における事業の推進に向けて共有しつつ、その実施体制を整備したことで市民への必要な相談支援、情報提供につながった。

カ その他	事業形態	自主事業
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	① 与那城社会福祉センターの管理運営（指定管理）	
	利用団体	与那城支所
	社会福祉協議会・福祉団体（総数）	341回
	内訳 ア 社協事業	4回
	〃 イ 民生委員	9回
	〃 ウ 老人クラブ	19回
	〃 エ ボランティア団体	3回
	〃 オ 相談支援	1回
	〃 カ 社協デイサービス	305回
	行政関係	0回
	一般市民・団体	12回
	合計	353回
	② 福祉バスの貸出 本所0回(8月に廃車)、石川支所0回 (コロナ禍による貸出し停止)	
	③ カラオケ機器の貸出 本所0回(コロナ禍による貸出し停止)	
効果	与那城福祉センターを必要な福祉団体に提供できた。	

(2) 自主財源の確保

ア 社協会員加入促進 (戸別会員・賛助会員・団体会員・特別会員)	事業形態	自主事業				
	主な財源	社協会費				
	サービス区分	法人運営事業				
実施内容	地区	戸別会員	賛助会員	団体会員	特別会員	合計
	具志川地区	8,650世帯 4,325,000円	311名 310,599円	23団体 115,000円	71社 355,000円	5,105,599円
	石川地区	2,610世帯 1,305,000円	48名 47,500円	9団体 45,000円	41社 205,000円	1,602,500円
	勝連地区	1,461世帯 730,400円	29名 29,000円	1団体 5,000円	6社 40,000円	804,400円
	与那城地区	1948世帯 974,000円	37名 37,000円	1団体 5,000円	20社 115,000円	1,131,000円
	合計	14,669世帯 7,334,400円	424名 424,099円	34団体 170,000円	138社 715,000円	8,643,499円
	効果	今年度の達成率81.6%となり、実績額は前年度実績より微増した。				

イ 共同募金運動の実施	事業形態	自主事業																											
	主な財源	共同募金配分金																											
	サービス区分	—																											
実施内容	<p>うるま市共同募金委員会の運営</p> <p>うるま市共同募金委員会及び各地区推進委員会において新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面評決により実施し、共同募金事業の目標や課題についての認識を共有するため、自治会をはじめ民生委員等の多くのボランティアの協力を得て実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> うるま市共同募金委員会 第1回 委員会書面評決により実施 <ul style="list-style-type: none"> 期 日：令和2年8月：同意者：19名(委員17名、監事2名) 報告事項1 任期満了に伴う委員の選任報告について 議案第1号 令和元年度 事業報告について 議案第2号 令和元年度 決算報告について 議案第3号 令和2年度 事業計画について 議案第4号 令和2年度 資金収支予算について 議案第5号 会則の一部改正について うるま市共同募金委員会地区推進委員会書面評決により実施 <ul style="list-style-type: none"> 具志川地区推進委員会・・・令和2年9月14日：同意者39名 石川地区推進委員会・・・令和2年9月14日：同意者29名 勝連地区推進委員会・・・令和2年12月18日：同意者16名 与那城地区推進委員会・・・令和2年9月14日：同意者10名 ※新型コロナ感染予防のため資料配布及び署名評決にて実施 令和2年度共同募金運動出発式 <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の防止対策により中止。 赤い羽根共同募金感謝の集いにて一般篤寄付者表彰（1個人、7法人） <ul style="list-style-type: none"> 個人の部 前堂幸枝 法人の部 株式会社ぐしけん、有限会社ハート住宅、有限会社津島工業 有限会社沖縄クリーン工業石川リサイクル工場、有限会社丸伊運送 株式会社創新工業、有限会社ライフ電子 <p>【共同募金実績】</p> <table border="1" data-bbox="403 1552 1374 1957"> <thead> <tr> <th>募金種別</th> <th>赤い羽根</th> <th>歳末たすけあい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸別募金</td> <td>6,571,000円【90件】</td> <td>4,065,073円【91件】</td> </tr> <tr> <td>職域募金</td> <td>1,755,289円【196件】</td> <td>813,340円【158件】</td> </tr> <tr> <td>街頭募金</td> <td>※新型コロナ禍のため未実施</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>学校募金</td> <td>996,953円【23件】</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個人大口募金</td> <td>997,950円【246件】</td> <td>249,169円【11件】</td> </tr> <tr> <td>法人募金</td> <td>1,763,000円【154件】</td> <td>755,000円【48件】</td> </tr> <tr> <td>その他募金</td> <td>148,943円【22件】</td> <td>239,973円【1件】</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12,233,135円【731件】</td> <td>6,122,555円【309件】</td> </tr> </tbody> </table>		募金種別	赤い羽根	歳末たすけあい	戸別募金	6,571,000円【90件】	4,065,073円【91件】	職域募金	1,755,289円【196件】	813,340円【158件】	街頭募金	※新型コロナ禍のため未実施	—	学校募金	996,953円【23件】	—	個人大口募金	997,950円【246件】	249,169円【11件】	法人募金	1,763,000円【154件】	755,000円【48件】	その他募金	148,943円【22件】	239,973円【1件】	合計	12,233,135円【731件】	6,122,555円【309件】
募金種別	赤い羽根	歳末たすけあい																											
戸別募金	6,571,000円【90件】	4,065,073円【91件】																											
職域募金	1,755,289円【196件】	813,340円【158件】																											
街頭募金	※新型コロナ禍のため未実施	—																											
学校募金	996,953円【23件】	—																											
個人大口募金	997,950円【246件】	249,169円【11件】																											
法人募金	1,763,000円【154件】	755,000円【48件】																											
その他募金	148,943円【22件】	239,973円【1件】																											
合計	12,233,135円【731件】	6,122,555円【309件】																											
効果	<p>令和2年度は主幹担当者を強化して臨んだが、コロナ禍の影響により出発式及び街頭募金活動は中止となってしまった。しかし募金運動の取組みを見直したことで、協力事業所件数・募金額とも成果を上げることができた。</p>																												

ウ 資金造成に係る関係団体等との連携	事業形態	自主事業
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて開催中止。	
効果	効果なし	

エ 寄附金募集の推進	事業形態	自主事業
	主な財源	一般寄附、指定寄附
	サービス区分	法人運営事業
実施内容	寄附金募集の推進 ・一般寄附 50件 4,092,923円 ・指定寄附 1件 100,000円 (子どもの貧困対策)	
効果	法人運営等の財源確保ができた。	

(3) 地域福祉活動事業 《～第3次地域福祉活動計画～》

目標1 一人ひとりが「参加する」ための地域環境づくり

計画1 地域福祉意識の醸成と人材の確保

① 福祉教育の充実による人権教育・啓発の推進

ア 福祉教育の充実による人権意識の醸成	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	ボランティアセンターによる児童・生徒に向けた福祉体験学習に必要な相談、プログラムの提案、活動への協力を行った。 ・福祉学習プログラムのコーディネート及び助成 (保育園、幼稚園、学校等) 福祉プログラムの提案・調整 12校 (延べ21校) 延 1240人 児童生徒、住民の体験学習支援 33回	
	沖縄県警察学校	参加者：76人 ・令和2年6月2日 (火) 出会いと気づきの体験 知的障がいの理解と対応 施設ボランティア活動の心得 講話、当事者体験発表、疑似体験
	彩橋小学校	参加者：13人 (4年生) ・令和2年7月1日 (水) 福祉講話 盲導犬ユーザー 山田末子 ・令和2年7月28日 (火) 視覚障がい者の理解体験 アイマスクを着用しての折り紙・食事体験 アイマスク歩行体験
	田場小学校	参加者：150人 (4年生) ・令和2年9月11日 (金) 視覚障がい者の理解体験 アイマスクを着用しての折り紙・食事体験 ・令和2年9月15日 (火) 視覚障がい者の理解体験

	<ul style="list-style-type: none"> アイマスクを着用しての折り紙・食事体験 ・令和2年10月1日（木） 福祉講話 車イスバスケット選手 伊波朝一 	
具志川小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年10月26日（月） 視覚障がい者の理解体験・福祉講話 アイマスクを着用しての折り紙・食事体験 ・令和2年10月27日（火） アイマスク歩行体験 ・令和2年10月28日（木） 点字学習・体験 ・令和2年11月10日（水） 福祉講話 車イスランナー 喜納翼 	参加者：60人 (4年生)
高江洲小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年10月20日（火） 福祉講話 車イスランナー 喜納翼 ・令和2年11月12日（木） 点字学習・体験 ・令和2年11月24日（火） 視覚障がい者の理解体験 アイマスクを着用しての折り紙・食事体験 ・令和2年12月3日（木） アイマスク歩行体験 	参加者：105人 (4年生)
中部農林高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年9月18日（金） 福祉講話：視覚障がい者 三線講師 心の健康の会：代表 上原盛一 ・令和2年12月25日（金） 福祉講話 聴覚障がい者 前門恒子 	参加者：15人 (3年生)
天願小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年10月9日（金） 福祉講話 車イスランナー 喜納翼 ・令和2年10月15日（木） 視覚障がい者の理解体験 アイマスクを着用しての折り紙・食事体験 ・令和2年10月16日（金） アイマスク歩行体験 	参加者：120人 (4年生)
南原小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年11月11日（水） 福祉講話 視覚障がい者 前門恒子 ・令和2年11月13日（金） 福祉講話 車イスバスケット選手 伊波朝一 	参加者：280人 (全生徒) 参加者：154人 (4～6年生)
城前小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年11月17日（火） 視覚障がい者の理解体験 アイマスクを着用しての折り紙・食事体験 ・令和2年12月2日（水） 点字学習・体験 ・令和3年3月2日（火） 視覚障がい者の理解体験 	参加：78名 (4年生) 参加者：70人 (5年生)

		アイマスクを着用しての折り紙・食事体験 ・令和3年3月10日（水） 福祉講話 聴覚障がい者 前門恒子	
	伊波小学校	・令和2年11月26日（木） 視覚障がい者の理解体験 アイマスクを着用しての折り紙・食事体験 ・令和2年12月10日（木） 福祉講話 車イスバスケット選手伊波朝一 ・令和3年2月8日（水） 点字学習・体験 ・令和3年2月9日（水） 福祉講話 盲導犬ユーザー 桐原好枝	参加者：120人 （4年生）
	川崎小学校	・令和3年1月12日（火） 視覚障がい者の理解体験 アイマスクを着用しての折り紙・食事体験 ・令和3年1月18日（月） アイマスク歩行体験 ・令和3年1月26日（火） 点字学習・体験 ・令和3年2月2日（火） 福祉講話 盲導犬ユーザー 桐原好枝	参加者：70人 （4年生）
	津堅小中学校	・令和3年2月10日（火） 視覚障がい者の理解体験 アイマスクを着用しての折り紙・食事体験 アイマスク歩行体験	参加者：7人 （中1～3年生）
効果	コロナ禍による影響もあり全体的に依頼件数も減少はしたが、福祉講話学習や体験をとおして障がいについての理解や、互いの人権を尊ぶなど福祉意識の醸成につながった。		

イ 体験学習プログラムの提案と実施の協力	事業形態	
	自主事業	
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	福祉体験学習をとおして、社会連帯の精神を養いながら社会福祉への理解と関心が高まった。 ・福祉教育の充実による人権意識の醸成 ※P19～21 掲載 ・ボランティア体験推進事業	
	令和2年度ボランティア・NPO活動体験の説明会の開催	※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
効果	コロナ禍で実施校は減少したが、子どもたちに福祉講話やアイマスク体験をとおして障がいについての理解や、互いの人権を尊ぶ精神を学ぶ機会を提供できた。ボランティア・NPO活動体験も新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止したが、その中でもできるボランティアへの問合せが寄せら	

	れ、子どもの居場所やコロナ禍でのマスクづくりを行う団体等へつなぐことで、ボランティアに触れる機会を提供できた。令和3年度はコロナウイルスの影響状況をみながら開催していきたい。
--	---

ウ 福祉学習の機会の拡充、福祉のお仕事勉強会	事業形態	自主事業
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	沖縄県福祉人材センターの実施する「福祉のお仕事勉強会」とおして、福祉への理解や関心を図る活動を推進。 ※令和2年度は沖縄県福祉人材センターからの依頼なく実施なし。	
効果	効果なし。	

② 地域人材の確保と育成

ア 地域と連携した福祉教育の推進 地域づくり支援事業／出前講座「小地域ネットワーク（近隣見守り援助体制）づくり	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	<p>地域住民による主体的な福祉活動を推進し、日常的な見守りや支え合いについて学び、福祉ネットワークの構築を目的に出前講座を実施した。</p> <p>① 新赤道自治会（新赤道環境美守り隊） 期日：令和2年9月30日（水） 参加者：11名 期日：令和2年12月23日（水） 参加者：8名</p> <p>② 志林川区自治会（華咲爺会） 期日：令和2年10月10日（土） 参加者：9名 期日：令和2年10月17日（土） 参加者：10名</p> <p>③ 上江洲自治会（い〜じお助け隊） 期日：令和3年1月13日（水） 参加者：9名 期日：令和3年3月10日（水） 参加者：11名</p>	
効果	主防災組織等、見守り隊以外の福祉活動の立ち上げにも対応できるよう今年度より実施要領の改正を行ったところ、コロナ禍にも関わらず3つの自治体で出前講座を実施することができた。うち、2つの組織については出前講座をきっかけに、立ち上がった組織であり、高齢者や福祉的課題を抱えた世帯を地域で支える仕組みづくりが出来た。	

イ 各種分野との連携と協力体制づくり	事業形態	自主事業
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	<p>個別支援・地域支援を展開する上で必要に応じて、関係機関と連携し協力体制の構築を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関とのケース検討会議 31回 関係機関との連絡会の開催 47回 	
効果	新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施できない時期もあったが、必要に応じて、関係機関と連携し協力体制の構築を行った。（地域カンファレンス・包括支援センター連絡会・各種関係機関との連絡会ならびに個別支援会議等）	

ウ 企業、福祉施設との連携と協力体制づくり 地域づくり支援事業／地域見守りネットワーク事業	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	<p>地域見守りネットワーク協定先との連絡会を年2回実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、連絡会の実施を行うことができなかった。一方で、新たに事業へ協力してくれる企業を探したところ、9事業所から協力を得ることができた。</p> <p>・協定締結式 期日： 令和2年12月17日（木） 場所： 健康福祉センターうるみん デイサービス室 新規協定事業所：有限会社キャッスルハイランダー 社会福祉法人沖縄県社会福祉事業団具志川厚生園 株式会社ワールドツーリスト（うるま営業所） ファントム7</p> <p>期日： 令和3年3月17日 場所： 健康福祉センターうるみん 第二交流室 新規協定事業所： JAおきなわ具志川支店 JAおきなわ石川支店 JAおきなわ与那城支店 JAおきなわ勝連支店 水幸（SUISIA）</p> <p>※追加後の協定数：40協定（68事業所） ※地域見守りネットワーク協定に係る相談件数：1件</p>	
効果	<p>新規協定の締結を行うことができ、地域住民の福祉課題について早期発見・対応が可能となる連絡体制の構築を行うことができた。すでに協定を締結している事業所との連絡会を開催することができなかったため、事業の活性化を行うには、どのように協定事業所へ周知していくかが課題である。</p>	

③ 民生委員・児童委員の活動支援

ア 個々の民生委員・児童委員の活動支援	事業形態	自主事業
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	地域の身近な相談相手として民生委員・児童委員の活動を支援した。	
効果	個々の民生委員・児童委員の相談支援の負担感の軽減による担い手の安定確保に取り組んだ。	

イ 民生委員児童委員協議会との協働による 地域活動推進 ①こいのぼり掲揚式、児童福祉週間イベント ②民生委員児童委員協議会への助成及び活動支援	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業

実施内容	<p>①次世代を担う子ども達が心身ともに健やかに育つことを社会全体で願うと共に、児童福祉の理念と福祉意識の高揚を図ることを目的に各民生委員児童委員協議会と協働事業を実施。例年、基幹福祉圏域ごとに保育所・園参加のもとこのほり掲揚等の行事を企画・実施するが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でイベントを中止し、啓発活動の一環として、チラシと記念品の配布を行った。</p> <p>期日：4月21日（火） 石川地区（石川民児協） 参加者：378人 期日：4月28日（火） 具志川地区（具志川東西民児協） 参加者：100人 期日：5月1日（金） 与那城地区（与那城民児協） 参加者：424人 期日：5月8日（金） 勝連地区（勝連民児協） 参加者：414人</p> <p>②市及び基幹福祉圏域ごとに担当職員を配置し、民生委員児童委員協議会の主体性を尊重し、定例会への参加や個別の相談対応、各種イベント等の活動を通して、地域福祉を推進した。</p>
効果	<p>①民生委員、保育所・園、社協との接点ができることで、それぞれの顔の見える関係づくりとお互いの連携づくりにつながった。その事で児童福祉の理念と福祉意識の高揚を図ることができた。</p> <p>②民児協会運営の支援による事務業務の円滑化と市及び単位民児協役員の負担軽減を行うことができた。</p>

計画2 自治会の活性化支援

① 自治会の活性化支援

事業名		事業形態	自主事業
ア 小地域福祉ネットワーク活動の推進 地域づくり支援事業／出前講座「小地域ネットワーク（近隣見守り援助体制）づくり			
	主な財源	共同募金配分金	
	サービス区分	共同募金配分金事業	
実施内容	<p>地域住民による主体的な福祉活動を推進し、日常的な見守りや支え合いについて学び、福祉ネットワークの構築を目的に出前講座を実施した。</p> <p>① 新赤道自治会（新赤道環境美守り隊） 期日：令和2年9月30日（水） 参加者：11名 期日：令和2年12月23日（水） 参加者：8名</p> <p>② 志林川区自治会（華咲爺会） 期日：令和2年10月10日（土） 参加者：9名 期日：令和2年10月17日（土） 参加者：10名</p> <p>③ 上江洲自治会（い〜じお助け隊） 期日：令和3年1月13日（水） 参加者：9名 期日：令和3年3月10日（水） 参加者：11名</p>		
効果	<p>自主防災組織等、見守り隊以外の福祉活動の立ち上げにも対応できるよう今年度より実施要領の改正を行ったところ、コロナ禍にも関わらず3つの自治体で出前講座を実施することができた。うち、2つの組織については出前講座をきっかけに、立ち上がった組織であり、高齢者や福祉的課題を抱えた世帯を地域で支える仕組みづくりが出来た。</p>		

② 自治会への加入、地域活動への参加促進

イ 福祉協力会の支援		事業形態	自主事業
	主な財源		
	サービス区分	法人運営事業	

実施内容	福祉協力会助成金の支給	
	具志川地区	30ヶ所 1,675,520円
	石川地区	17ヶ所 499,400円
	勝連地区	5ヶ所 250,000円
	与那城地区	11ヶ所 358,200円
	合計	63ヶ所 2,670,920円
効果	各行政区福祉協力会の活動支援が推進できた。	

③ 自治会間の連携支援

ア 地域づくり支援事業（地区事業）	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて開催中止。 開催はかなわなかったが、地域課題解決のために活動した地域や団体の取組みをまとめた「令和2年度地域福祉活動報告書（冊子）」を発行し、これまでの地区事業に参加できなかった住民の目にも届くように各自治会に配布することで、住民の支え合い活動への意識喚起を行った。</p>	
効果	冊子の配布をとおして、各地域に住民の支え合い活動について働きかけることができた。	

イ 生活支援体制整備事業	事業形態	市受託事業						
	主な財源	市受託金						
	サービス区分	生活支援体制整備事業						
実施内容	<p>独居や高齢者のみの世帯、認知症高齢者が増加する中、医療・介護のサービス提供のみならず、民間企業や協同組合、社会福祉法人、地域、地縁組織・団体と連携しながら多様な日常生活上の支援体制の充実と高齢者の社会参加の推進を一体的に図った。</p> <p>ア 地域の高齢者支援のニーズと資源の見える化及び問題提起</p>							
		生活圏域 実施内容	勝連	与那城	具志川1	具志川2	石川	計
		地域まわり	58件	125件	140件	88件	94件	505件
		ミニサービス	0件	0件	1件	1件	2件	4件
		サロン活動	1件	0件	2件	3件	1件	7件
		サークル活動	0件	4件	3件	4件	11件	22件
		見守り活動	4件	2件	5件	4件	1件	16件
		ニーズ把握	24件	10件	21件	1件	3件	59件
		計	87件	141件	172件	101件	112件	613件
		イ 地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ						
	生活圏域 実施内容	勝連	与那城	具志川1	具志川2	石川	計	
	自治会等	40件	49件	77件	56件	41件	263件	
	ボランティア	5件	0件	5件	1件	0件	11件	
	単位老人クラブ	1件	0件	4件	1件	7件	13件	

民生委員	27件	11件	13件	2件	2件	55件
サロン活動	0件	0件	2件	2件	2件	6件
サークル活動	1件	0件	3件	1件	0件	5件
見守り活動	3件	1件	0件	2件	0件	6件
民間事業者	8件	5件	64件	2件	5件	84件
計	85件	66件	168件	67件	57件	443件

ウ 関係者のネットワーク化

生活圏域 実施内容	勝連	与那城	具志川1	具志川2	石川	計
包括支援センター	17件	5件	13件	6件	12件	53件
関係機関(行政含)等	9件	8件	16件	2件	1件	36件
コミュニティソーシャルワーカー、 ボランティアコーディネーター等	26件	3件	89件	23件	9件	150件
見守り活動団体	6件	0件	2件	4件	15件	27件
地域情報交換会	5件	0件	7件	1件	1件	14件
市・単位老人クラブ	2件	2件	1件	1件	3件	9件
計	65件	18件	128件	37件	41件	289件

※地域包括支援センターとの連絡会（各地区1回/2か月）

エ 目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一

生活圏域 実施内容	勝連	与那城	具志川1	具志川2	石川	計
関係機関（行政・社協）等	5件	5件	46件	3件	4件	63件
自治会	4件	0件	156件	10件	22件	192件
SC会議	36件	38件	35件	36件	35件	180件
計	45件	43件	237件	49件	61件	435件

オ 生活支援サービスの担い手の養成及びサービスの開発

生活圏域 実施内容	勝連	与那城	具志川1	具志川2	石川	計
サロン・地域活動 実施の働きかけ	7件	1件	14件	0件	0件	22件
見守り・送迎・ 買い物	0件	2件	8件	0件	0件	10件
計	7件	3件	22件	0件	0件	32件

カ 地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動マッチング

生活圏域 実施内容	勝連	与那城	具志川1	具志川2	石川	計
サロン・サークル等立ち 上げ支援（サービス 提供主体へのつなぎ 含）	0件	0件	9件	1件	0件	10件

事業所等とサービス提供主体	1件	3件	87件	1件	0件	92件
その他	41件	2件	9件	11件	0件	63件
計	42件	5件	105件	13件	0件	165

キ 生活支援サービスの担い手の養成及びサービスの開発

生活圏域 実施内容	勝連	与那城	具志川1	具志川2	石川	計
SC会議	25件	28件	34件	28件	26件	141件

ク 地域ニーズ、既存の地域資源の把握、実態調査の実施

生活圏域 実施内容	勝連	与那城	具志川1	具志川2	石川	計
調査	4件	1件	1件	1件	0件	0件
把握	4件	1件	1件	5件	0件	13件
2層協議体企画検討・調査・準備	5件	7件	3件	0件	0件	21件
計	13件	9件	13件	6件	0件	41件

ケ 情報提供の場、働きかけの場

生活圏域 実施内容	勝連	与那城	具志川1	具志第2	石川	計
協議体の設置・開催（第二層）	0件	0件	2件	0件	0件	2件
協議体設置に向けての働きかけ	0件	0件	37件	0件	0件	37件
サロン登録、立上げ	0件	0件	4件	0件	0件	6件
サロン活動支援	0件	0件	1件	0件	0件	1件
サークル活動支援	0件	0件	11件	0件	0件	12件
百歳体操利用支援	0件	1件	0件	0件	0件	2件
高齢者交流サロン	0件	2件	1件	0件	0件	3件
その他	0件	0件	5件	0件	1件	6件
計	0件	3件	61件	0件	1件	69件

コ その他

生活圏域 実施内容	勝連	与那城	具志川1	具志第2	石川	計
第一層協議体	1件	1件	1件	1件	1件	5件

企画検討・調整・準備	8件	5件	23件	5件	3件	44件
第二層協議体	0件	0件	18件	0件	0件	18件
計	9件	6件	42件	6件	4件	67件

○第一層協議体

期 日 令和2年12月14日(月)
 場 所 健康福祉センターうるみん
 参加者 26名
 内 容 委員委嘱状交付、事業及び協議体説明、第二層協議体実施報告

○第一層協議体から市長への提言書の提出

期 日 令和2年12月24日(木)10時30分～11時30分
 場 所 本庁 市長室
 参加者 副市長、会長、地域係長、
 うるま市介護長寿課 第一層コーディネーター
 うるま市介護長寿課長、高齢者福祉係長、保健師
 第一層協議体座長
 内 容 ①島しょ地域の移動支援にかかるEV車の導入について
 ②ボランティアポイント制度の創設について
 ③うるま市丘陵地・狭あい地での高齢者のゴミ出しに係る課題検討について

○第二層協議体

(1)具志川自治会

期 日 4月7日16時～17時
 参加者 7名
 内 容 ゴミ出し課題のアンケート、コロナ禍での住民の困りごとについて

(2)松原団地自治会

期 日 6月15日10時～11時
 参加者 5名
 内 容 団地内の独居高齢者について

(3)上江洲自治会

①期 日 6月10日14時～16時
 参加者 6名
 内 容 緊急通報システム、日常生活用具給付事業内容、利用を希望している住民について

②期 日 6月22日10時～正午
 参加者 5名
 内 容 地域でのこれまでの活動、困りごと、今後の活動について

③期 日 1月13日20時～21時

参加者 9名
 内 容 「いーじお助け隊」の活動計画等について

④期 日 3月10日20時～21時(「いーじお助け隊」2回目の話し合い)

参加者 15名

	<p>内 容 災害時避難行動要支援者リスト、活動時の保険について</p> <p>(4)みどり町3・4丁目自治会</p> <p>①期 日 6月17日10時～12時 参加者 5名 内 容 課題を抱える住民について</p> <p>②期 日 9月15日14時～15時 参加者 9名 内 容 見守りマップの作成</p> <p>③期 日 10月13日18時～19時 参加者 4名 内 容 見守りマップの作成</p> <p>(5)書記協議体(7自治会の書記)</p> <p>期 日 6月25日13時～14時 参加者 8名 内 容 コロナ禍での住民の様子や困りごとについて</p> <p>(6)天願自治会協議体</p> <p>期 日 7月16日10時～12時 参加者 5名 内 容 地域住民で、コロナ禍での高齢者の活動について話し合う</p> <p>期 日 10月14日13時～14時 参加者 6名 内 容 事業所回りで得た情報の共有、コロナ禍での気になる高齢者の見守り活動や方法等、みどり町の3自治会での協議体開催について</p> <p>(7)赤野自治会</p> <p>期 日 8月5日14時～15時 参加者 5名 内 容 成年後見制度を利用している独居高齢者について</p>
効果	<p>地域における高齢者の生活支援体制の整備を推進するため、生活支援コーディネーターを配置し、ボランティア等を担い手とした生活支援サービスの資源開発、サービス提供主体間のネットワーク構築、地域課題の解決や地域資源の開発等に向けた協議体の設置を推進した。</p>

計画3 ボランティア活動の拡充

① ボランティアの養成

ア ボランティアの養成	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて中止。	
効果	夏のボランティア体験もボランティア講座の開催もコロナ禍で中止となったものの、市民からのボランティアについての問合せが数多く寄せられ、子どもの居場所やコロナ禍でのマスクづくりを行う団体等へつなぐことで、ボランティアに触れる機会を提供できた。令和3年度は新型コロナウイルスの影響状況をみながら開催していきたい。	

② ボランティアセンターの体制、機能の充実及びコーディネーターの配置

ア ボランティアコーディネーターの配置	事業形態	市受託事業																							
主な財源	委託費																								
サービス区分	ボランティアセンター運営事業																								
実施内容	ボランティアコーディネーター：2名配置																								
	1. ボランティア活動に関する相談・登録・斡旋																								
	<table border="1" style="width:100%"> <tr> <td style="width:50%"></td> <td style="width:50%">件数（人数）</td> </tr> </table>			件数（人数）																					
		件数（人数）																							
	<table border="1" style="width:100%"> <tr> <td style="width:50%">相談</td> <td style="width:50%">41件</td> </tr> </table>		相談	41件																					
	相談	41件																							
	<table border="1" style="width:100%"> <tr> <td style="width:50%">令和2年度新規登録</td> <td style="width:50%">団体数：5団体（335名） 個人数：15名</td> </tr> </table>		令和2年度新規登録	団体数：5団体（335名） 個人数：15名																					
	令和2年度新規登録	団体数：5団体（335名） 個人数：15名																							
	<table border="1" style="width:100%"> <tr> <td style="width:50%">現在の登録者数： （延：3月末現在）</td> <td style="width:50%">延69団体3,739名</td> </tr> </table>		現在の登録者数： （延：3月末現在）	延69団体3,739名																					
	現在の登録者数： （延：3月末現在）	延69団体3,739名																							
	<table border="1" style="width:100%"> <tr> <td style="width:50%">依頼</td> <td style="width:50%">11件</td> </tr> </table>		依頼	11件																					
	依頼	11件																							
	<table border="1" style="width:100%"> <tr> <td style="width:50%">斡旋</td> <td style="width:50%">33名</td> </tr> </table>		斡旋	33名																					
	斡旋	33名																							
	2. ボランティア活動に関する情報の収集・提供																								
<table border="1" style="width:100%"> <tr> <td style="width:50%"></td> <td style="width:50%">件数</td> </tr> </table>			件数																						
	件数																								
<table border="1" style="width:100%"> <tr> <td style="width:50%">情報収集・提供</td> <td style="width:50%">55件</td> </tr> </table>		情報収集・提供	55件																						
情報収集・提供	55件																								
3. ボランティア活動に関する広報・啓発 160件																									
①ボランティア募集に関する広報																									
<table border="1" style="width:100%"> <thead> <tr> <th style="width:25%">依頼先</th> <th style="width:12.5%">件数</th> <th style="width:25%">依頼先</th> <th style="width:12.5%">件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市行政</td> <td>0</td> <td>児童関係団体・施設</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>自治会関係</td> <td>8</td> <td>障がい関係団体・施設</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>学校</td> <td>7</td> <td>高齢者関係団体・施設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>保育園</td> <td>0</td> <td>その他（SNS）</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>地域団体</td> <td>1</td> <td>個人</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>		依頼先	件数	依頼先	件数	市行政	0	児童関係団体・施設	17	自治会関係	8	障がい関係団体・施設	0	学校	7	高齢者関係団体・施設	1	保育園	0	その他（SNS）	112	地域団体	1	個人	14
依頼先	件数	依頼先	件数																						
市行政	0	児童関係団体・施設	17																						
自治会関係	8	障がい関係団体・施設	0																						
学校	7	高齢者関係団体・施設	1																						
保育園	0	その他（SNS）	112																						
地域団体	1	個人	14																						
子どもの居場所での支援ボランティア																									
うさがみそ〜れ〜プロジェクト（食糧支援）																									
各自治会の夏休み学習支援																									
各学校での消毒・検温ボランティア																									
② 助成金の情報提供																									
パナソニック教育財団																									
りゅうぎんユイマール助成金																									
キリン福祉財団「キリン・地域のちから応援事業」																									
コープおきなわ「ボランティア団体援助金」																									
沖縄タイムス「タイムスふれあい事業」																									
4. ボランティア活動に関する調査・研究																									
・中部地区社会福祉協議会連絡協議会ボランティア部会 6回																									
・沖縄県社会福祉協議会 災害応援担当職員等研修会																									
・コロナ禍のICTを活用したつながり作り オンラインサロン																									
効果	ボランティアセンターを設置し、ボランティアコーディネーターを配置する																								

	<p>ことで、市民のボランティア活動に関する理解と関心を高め、市民ボランティア活動の育成・援助するとともに、各種活動の広報をととしてボランティア意識の喚起につながった。また、コロナ渦の中、ICT（情報通信技術）を活用したつながりづくりについても学ぶことができた。</p>
--	---

③ ボランティアサロンの設置及びボランティア活動支援の充実

ア ボランティアサロンの設置		事業形態	自主事業				
	<table border="1"> <tr> <td>主な財源</td> <td>共同募金配分金</td> </tr> <tr> <td>サービス区分</td> <td>共同募金配分金事業</td> </tr> </table>	主な財源	共同募金配分金	サービス区分	共同募金配分金事業		
主な財源	共同募金配分金						
サービス区分	共同募金配分金事業						
実施内容	<p>ボランティア団体・個人等の活動拠点、交流や協働の場としてサロンスペースを確保し設置した。</p> <p>場所 健康福祉センターうるみん2階デイサービス室</p> <p>開所日 毎週水・金曜日</p>						
効果	<p>ボランティアサロンを設置する事で、うるま市ボランティア連絡協議会に加盟している団体、個人が主体的にボランティア活動を展開するための拠点を設けることができた。コロナ禍で思うような稼働ができない時期もあったが、持続可能なサロン運営をボランティア連絡協議会と調整していきたい。</p> <p>うるま市ボランティア連絡協議会に加盟していない団体・個人や、うるま市内でボランティア活動等に関心ある地域住民も活用できるよう整備を進めていきたい。</p>						

イ ボランティア団体への助成と活動支援		事業形態	自主事業				
	<table border="1"> <tr> <td>主な財源</td> <td>共同募金配分金</td> </tr> <tr> <td>サービス区分</td> <td>共同募金配分金事業</td> </tr> </table>	主な財源	共同募金配分金	サービス区分	共同募金配分金事業		
主な財源	共同募金配分金						
サービス区分	共同募金配分金事業						

実施 内容	1. ボランティア団体等の組織化・活動に関する支援	
	①ボランティア団体活動支援助成事業	
	ボランティア団体への広報	応募期間：令和2年4月1日（月）～ 令和2年4月24日（金）
	ボランティア団体活動支援助成事業選考委員会の開催	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、選考委員会・プレゼンテーションの開催は中止し、書類選考へ変更。選考委員7名へ審査書類・申請団体プレゼン資料を発送。
	申請団体による公開プレゼンテーションの開催	書類審査の結果 10万円コース 4団体決定。
	ボランティア団体活動支援助成事業の案内	ホームページ・Facebook・LINE・Instagramへの掲載。 募集期間 令和2年4月1日（水）～ 令和2年4月24日（金）
	ボランティア講座の開催	平成31年度は講師に依頼等を行い助成金申請についてボランティア活動を行っている若しくは関心のある住民に講座を開催していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催することができなかった。
	②ボランティア団体・個人への活動に関する支援	
	ア 第63回沖縄県社会福祉大会長 特別功労（ボランティア団体） 心の健康友の会：代表 上原 盛一	
	③うるま市ボランティア連絡協議会への活動支援	
理事会等の活動支援	理 事 会 期日 令和2年5月26日（火） 期日 令和2年7月8日（水） 期日 令和3年3月10日（水） 監査委員会 期日 令和2年4月14日（火） 役 員 会 期日 令和2年4月7日（火） 期日 令和2年5月25日（月） 期日 令和2年6月18日（木） 期日 令和2年7月1日（水） 期日 令和2年10月14日（水） 期日 令和2年11月11日（水） 期日 令和3年2月1日（水） 期日 令和3年3月3日（水） 総会 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止	

	年間行事の活動支援	<p>ア) 総会 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止し、面決議に変更。総会資料作成・発送集計作業。</p> <p>イ) ボランティアサロン「さざなみ」開所式 期日：令和2年7月1日（水）</p> <p>※年末交流会・視察研修・ボランティア講話は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止</p>			
④ ボランティア保険の加入促進					
ボランティア活動保険		62件（503名）			
ボランティア行事用保険		6件（411名）			
⑤ 善意銀行活動・フードドライブ窓口の設置					
善意銀行活動受付		<p>32件 家電・寝具一式・マスク・トイレットペーパー・ベビーベッド等、必要とする世帯・施設へ提供</p>			
フードドライブ受付		<p>115件 えんまんランドリー・うるま市商工会・カーブスお菓子御殿・四樹の会・三和ハウス・その他企業個人より寄贈 こども食堂・支援団体、貸付相談者、その他食糧支援を必要とする生活困窮世帯に分配</p>			
⑥ ボランティア活動・福祉教育等に必要な資材の貸与					
プロジェクト	ICレコーダー	DVD 福祉教材	アイマスク	デジタルカメラ	
0件	0件	0件	15件	0件	
モニターケーブル	その他	点字板	ボランティアサロン		
0件	0件	5件	35回		
効果	ボランティア団体活動助成金をとおして、各ボランティア団体の創意工夫した取組みが推進できた。また、コロナ禍での食糧支援等の寄贈が多くの企業や市民から寄せられ、必要な世帯や団体に届けられた。				

④ ボランティア推進月間における取組みの推進

ア ボランティア活動体験や入門講座、研修等の機会の拡大	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業

実施内容	ボランティア体験推進事業	
	令和2年度ボランティア・NPO活動体験の説明会の開催	※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。
	令和2年度ボランティア・NPO活動体験 広報、受付、運営	※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。
効果	コロナ禍の影響で夏のボランティア体験は中止となったが、その中でもできるボランティアへの問合せが寄せられ、子どもの居場所やコロナ禍でのマスクづくりを行う団体等へつなぐことで、ボランティアに触れる機会を提供できた。令和3年度は方法を工夫しつつ事業実施に向けて取り組みたい。	

目標2 人と人が「支え合う」ための地域環境づくり

計画1 地域福祉推進のための住民参加の仕組みづくり

① 小地域福祉ネットワークの組織化と育成支援

ア 小地域福祉ネットワーク活動の支援	事業形態		自主事業
	主な財源	共同募金配分金	
	サービス区分	共同募金配分金事業	
実施内容	組織化している小地域ネットワーク（見守り隊等）については、定例会への参加ならびに、気になる世帯への同行訪問等、活動支援を継続することができた。また出前講座を実施し、新たに3つの小地域福祉ネットワークの構築を行うことができた。 小地域福祉ネットワーク組織数：21団体		
効果	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、様々なサービスや地域活動が停止する中、地域住民による見守り活動の重要性を再認識することができた。今後も出前講座を中心とした小地域福祉ネットワークの構築に努めていきたい。		

② コミュニティソーシャルワーカーの配置

ア コミュニティソーシャルワーカーの専門性の向上と各種専門相談機関との連携強化	事業形態		市受託事業
	主な財源	市補助金、市受託金	
	サービス区分	ふれあい総合相談支援事業	
実施内容	個別支援・地域支援を展開する上で必要に応じて、関係機関と連携し協力体制の構築を図った。また、専門性の向上を目的として各種研修等への参加を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関とのケース検討会議 31回 ・関係機関との連絡会の開催 47回 ・各種研修会への参加 6回 		
効果	多職種連携による個別支援・地域支援の展開ができた。		

計画2 人と人とのつながりづくり

① 地域の居場所づくりの推進

ア ふれあい・いきいきサロンづくりの支援と助成	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	<p>ふれあい・いきいきサロンの活動支援や活動費助成による、地域で暮らす住民同士が安心して集える居場所づくりや人と人とのつながりをつくった。</p> <p>1. 登録サロン： 全 18 サロン</p> <p>【勝連地区】</p> <p>和(ま-る)の会 (勝連南風原) 仲ゆくい (勝連南風原)</p> <p>【与那城地区】</p> <p>ナーグスクスチナーグループ (与那城宮城) クローバー (与那城屋慶名) 与那城西原ゆんたく会 (与那城西原)</p> <p>【具志川第1地区】</p> <p>ニヌファスター (みどり町五・六丁目) ティーパーティー1030 (宇堅) スマイルプロジェクト (みどり町三・四丁目) 松原ゆんたく会 (大田)</p> <p>【具志川第2地区】</p> <p>塩屋ふれあいサロン(塩屋) いーてらがーまちやーぐわ (上平良川) 上平良川睦の会 (上平良川)</p> <p>【石川地区】</p> <p>いきいきサークル (港) ゆんたく広場さくらんぼ (港) 健康体操サークル (南栄) 宮前区貯筋会サークル (宮前) 県営石川第二団地自治会 (嘉手苅) 東恩納区体操サークル (東恩納)</p> <p>2. 活動助成の実施：1 サロン 松原ゆんたく会 (大田)</p>	
効果	住民同士のつながりを基盤とした住民による多様な居場所づくりを推進し、活性化できた。	

イ 子どもの居場所づくりの支援と助成	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業

実施内容	<p>住民同士のつながりを基盤とした子ども達が安心して生活ができる地域の居場所づくりの推進とその活動を支援した。</p> <p>1. 登録サロン：全4サロン</p> <p>【具志川第1地区】</p> <p>田場公民館子どもの居場所（田場）</p> <p>みどり町三・四丁目子ども育成会（みどり町三・四丁目）</p> <p>英会話クリスティーナ教室（川崎）</p> <p>【石川地区】</p> <p>トゥーナーズ（嘉手苺：県営石川第二団地自治会）</p> <p>2. 活動助成の実施：4サロン</p> <p>田場公民館子どもの居場所（田場）</p> <p>みどり町三・四丁目子ども育成会（みどり町三・四丁目）</p> <p>英会話クリスティーナ教室（川崎）</p> <p>トゥーナーズ（嘉手苺：県営石川第二団地自治会）</p>
効果	<p>貧困家庭の孤立防止と子ども達の健やかな成長を地域で支える環境づくりへつながった。</p>

ウ 多様な住民のためのフリーサロンづくりの支援	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	<p>多様な生活課題を抱えた住民が社会的孤立に陥ることなく、安心して過ごすことのできる居場所をボランティアサロンとの共有で設け、人々とのつながりや社会貢献活動にふれる体験をとおして、課題解決や社会参加を促進するため、検討を進めた。</p>	

② 地域での交流機会の支援

ア ミニデイ推進員ふれあい交流会（ボランティア交流会）	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	<p>地域で頑張っている推進員を中心に交流・研修する機会を設け、ミニデイ活動の更なる充実強化を図ることを目的とする。</p> <p>「ミニデイ推進員調理実習」を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止。</p>	

イ 各基幹福祉圏域での研修会、情報交換会等の実施（地区事業）	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	<p>地域の地理的条件や特徴を踏まえて、ニーズに基づく事業や地域で活動する人々の交流や研修の機会を作り、活動の充実と市内全域への広がりを図ることを目的に各福祉圏域で地区事業の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催することが出なかった。</p>	
効果	<p>新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えない中、目的達成のため違う形の開催（出前講座を中心とした小地域ネットワークの構築等）や事業の展開を考えていく必要がある。</p>	

③ 福祉団体の主体的活動支援

ア 団体への助成と活動支援		事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金 社協会費	
	サービス区分	共同募金配分金事業 法人運営事業	
実施内容	活動助成金総額 4,098,000 円 うるま市民生委員児童委員協議会 1,056,000 円(共募) うるま市老人クラブ連合会 450,000 円(共募) うるま市身体障がい者協会 450,000 円(共募) うるま市母子寡婦福祉会 450,000 円(共募) うるま市ボランティア連絡協議会 150,000 円(共募) うるま市手をつなぐ育成会 222,000 円(共募) うるま市自治会長連絡協議会 120,000 円(法人) うるま市更生保護女性会 100,000 円(共募) うるま市福祉まつり実行委員会 (コロナ禍の影響で開催中止)		
効果	各団体の活動資金として助成金が活かされた。		

イ 各団体の主体的活動と活性化のための相談助言		事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金	
	サービス区分	共同募金配分金事業	
実施内容	1. うるま市老人クラブ連合会		
	団体名	活動内容 (主催事業等)	参加人数等
	市老人クラブ連合会	役員会 (3回) 理事会 (3回) 企画運営会議 (4回) 介護長寿課との懇談会 (2回)	延参加者: 9名 延参加者: 45名 延参加者: 26名 延参加者: 27名
		資金造成並びに歳末チャリティーGG大会 (4支部で実施) 中部・県事業へ参加 (2件)	参加者: 495名 延参加者: 34名
市老人クラブ連合会 具志川支部	役員会 (7回) 評議員会 (5回) 専門部会 (20回) 具志川支部大会	延参加者: 32名 延参加者: 146名 延参加者: 99名 延参加者: 40名	
	市・中部・事業へ参加 (2回)	延参加者: 22名	
市老人クラブ連合会 石川支部	役員会 (11回) 評議員会 (8回) 新1年生交通安全お守り配布 (配布: 3校 294個) 新年度朝のあいさつ運動 (3小学校、2中学校) (1回)	延参加者: 33名 延参加者: 147名 参加女性委員: 8名 延参加者: 120名	

		ゲートボール場の草刈作業 (5回) GG大会 (2回) GB大会 (3回) 作品展示会	延参加者：81名 延参加者：273名 延参加者：153名 延参加者：176名
		市・中部・事業へ参加 (7回)	延参加者 21名
	市老人クラブ連合会 勝連支部	役員会 (7回) 評議員会 (5回) 支部ゲートボール大会、資金造成並びに歳末チャリティーGG大会	延参加者：24名 延参加者：39名 延参加者：54名
		市・中部・県事業へ参加 (1回)	延参加者：5名
	市老人クラブ連合会 与那城支部	役員会 (10回) 評議員会 (8回) 資金造成 GG大会 与那城支部大会 7/14 (火) 評議員のみ参加 新1年生交通安全お守り作り (配布：2校他 160個) 友愛訪問	延参加者：61名 延参加者：90名 参加者：15名
		市・中部・県事業へ参加(9回)	参加者：16名
	<p>2. うるま市身体障がい者協会</p> <p>理事会 期日 令和2年4月29日(水) ※コロナ対策の為書面決議 第14回定期総会 期日 令和2年5月10日(日) ※資料書面決議 第3回うるま市身体障がい者協会運動会 (具志川陸上競技場) 期日 令和2年6月28日(日) 令和2年度沖縄県春季交流ペタンク大会 (奥武山総合運動補助競技場) 期日 令和2年7月4日(土) うるま市障がい者IT教室 第1回～8回 (うるみん第5交流室) 期日 令和2年9月8日(火) 第60回沖縄県身体障害者福祉展 作品出品 (金武町総合福祉センター) 期日 令和2年11月30日(月)</p> <p>3. うるま市母子寡婦福祉会</p> <p>母と子の楽しいクリスマス会 期日 令和2年12月6日(日) 場所 うるみん ホール うるま市母子会ランドセル贈呈式 期日 令和3年2月23日(火) 場所 うるみん 視聴覚室AB</p>		
効果	活動支援により福祉団体の自主的・主体的な活動と組織運営につながった。		

計画3 住民等の地域福祉活動の推進

① 市内の社会福祉法人の連携支援（地域貢献の推進）

ア 福祉まつりや社会福祉大会等での実践発表の場づくり	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金等
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	新型コロナ禍のため中止。	
効果	効果なし	

イ 座談会や懇話会の開催による情報の共有及び提供	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金等
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	<p>うるま市内で活動する社会福祉法人が一堂に会し、それぞれの活動について理解を深めるとともに、うるま市にある地域ニーズを共有し、互いに地域と協働しながらできることを模索する契機となることを目指し、平成31年度に実施した「社会福祉法人ネットワーク懇談会」は、コロナ禍のため令和2年度は実施できなかったものの前年度懇談会をきっかけに改めてつながった社会福祉法人からのコロナ禍の食糧支援へ米の寄贈、地域の団体から寄せられたマスクや衛生資材などの寄贈先としてつなぐなど新たな取組みも生まれてきた。</p>	
効果	<p>複雑多様化する地域課題に対し、市内の社会福祉法人と共有する機会を持ち地域課題の共有を行えたことで、社会福祉法人の「地域における公益的な取組み」に向けた連携を確認する機会となった。</p>	

② 地域住民の地域福祉活動促進と支援

ア ボランティア交流会	事業形態	自主事業、市受託事業
	主な財源	共同募金配分金、市受託金
	サービス区分	地域づくり支援事業 生活支援体制整備事業
実施内容	<p>住民が、地域活動に関心を持ち、積極的に取組めるよう市全域及び基幹福祉圏域、行政区ごとの実情を把握し、協議体等に取り組んだ。</p> <p>地域福祉活動報告会： 市内で地域福祉活動に取り組んでいる団体の活動紹介ならびに活動が市内全域に広がることを目的とした活動報告会が新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催できなかった。コロナ禍だからこそできた活動を冊子にまとめ、自治会や関係機関等へ配布した。</p>	
効果	<p>住民が地域福祉活動に関心を持つきっかけとなり、住民福祉活動に広がりが出た。</p>	

イ 活動報告会、地区事業、協議体など地域活動の普及啓発を目的とした研修会・懇談会の実施	事業形態	自主事業、市受託事業
	主な財源	共同募金、市受託金
	サービス区分	地域づくり支援事業 生活支援体制整備事業

実施内容	1. 地域福祉活動報告会 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、開催を見送る形となった。しかしコロナ禍においても、地域活動は継続しており、特に休校時には行き場を失った子ども達を支援するため、自治会を中心に居場所を提供し、企業からは食材の寄贈など、支援の輪が広がりを見せていた。また、当会としても、感染状況も見ながら自治会と共同で地域づくり支援事業を行う等、コロナ禍だからこそ出来た活動もあった。そのような活動を冊子にまとめ、自治会や関係機関等へ配布を行った。																																		
	2. 地区事業 地域の地理的条件や特徴を踏まえて、ニーズに基づく事業や地域で活動する人々の交流や研修の機会を作り、活動の充実と市内全域への広がりを図ることを目的に各福祉圏域で地区事業の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催することが出来なかった。																																		
	3. 生活支援体制整備事業（協議体）																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>生活圏域 実施内容</th> <th>勝連</th> <th>与那城</th> <th>具志川1</th> <th>具志第2</th> <th>石川</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一層協議体</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>企画検討・調整・準備</td> <td>8件</td> <td>5件</td> <td>23件</td> <td>5件</td> <td>3件</td> <td>44件</td> </tr> <tr> <td>第二層協議体</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>18件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>18件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9件</td> <td>6件</td> <td>42件</td> <td>6件</td> <td>4件</td> <td>67件</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※P25～29 掲載</p>	生活圏域 実施内容	勝連	与那城	具志川1	具志第2	石川	計	第一層協議体	1件	1件	1件	1件	1件	5件	企画検討・調整・準備	8件	5件	23件	5件	3件	44件	第二層協議体	0件	0件	18件	0件	0件	18件	計	9件	6件	42件	6件	4件
生活圏域 実施内容	勝連	与那城	具志川1	具志第2	石川	計																													
第一層協議体	1件	1件	1件	1件	1件	5件																													
企画検討・調整・準備	8件	5件	23件	5件	3件	44件																													
第二層協議体	0件	0件	18件	0件	0件	18件																													
計	9件	6件	42件	6件	4件	67件																													
効果	地域住民が福祉活動に関心を持つきっかけとなり、住民福祉活動に広がりが出てきた。																																		

③ 小地域福祉ネットワーク活動の支援

ア 定例会などでの相談・情報提供・コーディネートなど活動支援	事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金
	サービス区分	ふれあい総合相談支援事業
実施内容	見守り隊定例会・サロン定例会等への参加や、個別支援に関する同行訪問等の活動支援を行った。 ・小地域福祉活動グループ定例会への参加及び活動支援 回数：59回 ・地域活動支援 回数：122回	
効果	各地域の定例会等に参加し、住民とともに地域の課題について考える機会を持ち、活動の充実や課題解決につなげることができた。	

イ 活動のための環境整備	事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金
	サービス区分	ふれあい総合相談支援事業 ボランティアセンター事業 生活支援体制整備事業
実施内容	住民のボランティア活動に関する保険加入の情報提供や活動費確保に向けた支援を推進した。 ・ボランティア活動保険やボランティア行事用保険の利用支援 ・各種助成金の情報提供及び申請支援	

	・企業等からの寄附・寄贈とのつなぎ支援
効果	各事業担当で、小地域福祉活動を実施、充実させていくための情報提供と利用支援を行い、活動のための環境整備に努めた。独自の活動を推進する地域の動機づけができた。

④ 地域企業の地域福祉活動参加の促進

ア 地域企業との協働による地域福祉活動のしくみづくり	事業形態	自主事業、市受託事業
	主な財源	市受託金
	サービス区分	ふれあい総合相談支援事業 ボランティアセンター事業
実施内容	<p>1. 必要に応じて、助成団体から発信されている情報を各自治会等に提供ならびに申請時における助言等を行った。</p> <p>2. 平成31年度はボランティア講座として、キリン福祉財団の協力のもと「助成金申請書の書き方」講座を実施し、各種助成金を活用しての効果的な小地域福祉活動の展開について住民とともに学ぶ機会を設け、各地域での展開につないだが、令和2年度はコロナウイルス感染拡大の影響により開催できなかった。令和3年度はコロナウイルス感染の状況をみながら開催について検討が必要。</p> <p>3. 企業の継続的社会貢献と小地域福祉活動者とのつなぎ支援 企業による寄附・寄贈の継続的取組みと地域課題に取り組む団体をつなぎ、活動者が安心して地域福祉活動を推進できる仕組みづくりを行った。</p> <p>Eスペースうるま店、塩屋店 日本郵便沖縄支社及び市内郵便局 お菓子御殿 第一生命 (株)沖縄ヤクルト 琉球イオン 識名農園 日本青年会議所 具志川食糧 四樹の会 えんまんランドリー カーブス石川 三和ハウス うるま市農漁村生活研究会 CITI グループ オリオンペーカリー</p>	
効果	助成金を活用した、地域における取組みに繋げることができた。各地で活動を展開する団体が、その活動を充実・推進する環境づくりを推進することができた。	

計画4 防犯・防災対策の充実

① 地域における防犯対策の支援

ア 地域防犯活動の支援及び犯罪情報の発信(SNS等の活用)	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金等
	サービス区分	共同募金配分金事業

実施内容	Facebookによる情報発信 0回
------	--------------------

② 地域における防災対策の支援

ア 自主防災組織の結成への啓発	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金等
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	活動している自主防災組織を把握した。	
効果	現状活動している自主防災組織の状況とその課題を把握ができた。	

イ 自主防災組織と災害ボランティアセンターとの連携	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金等
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	令和2年度 災害ボランティアセンター応援担当職員研修会	
効果	オンライン研修をとおして、災害ボランティアセンターの役割や自主防災組織との連携を他市町村の実践から学ぶことができた。	

ウ 災害対応マニュアルに基づく平常時からの関係者とのネットワークの構築と必要な環境整備	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金等
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	令和2年度 災害ボランティアセンター応援担当職員研修会	
効果	研修をとおして、災害ボランティアセンターについての設置や発災時の体制整備について話合う機会を持つことができた。	

③ 避難行動要支援者への支援

ア 避難支援者の確保に向けた啓発	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	各地域における要支援者、危険箇所等の把握のためのマップづくりと地域住民との共有。(ふれあい総合相談支援事業、生活支援体制整備事業) 随時	
効果	自治会を中心とした小地域福祉活動者とともに要支援者の共有ができた。	

イ 小地域ネットワーク活動組織と連携した避難支援体制づくりの支援	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	避難所体験訓練(防災キャンプ)を地域とともに実施する予定であったが、コロナ禍により中止。出前講座をとおして、地域の避難経路等、危険箇所のチェックなど行うことで地域住民と情報の共有ができた。	
効果	自治会を中心とした防災対策や発災時に向けた意識喚起につながった。	

目標3 快適で安心して暮らすための地域環境づくり

計画1 サービス提供体制の充実

① 福祉サービスの充実

【高齢者の支援】

ア 生きがい活動支援通所事業		事業形態	市受託事業		
	主な財源	市受託金			
	サービス区分	生きがい活動支援通所事業			
実施内容	<p>高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができる福祉環境を整備することを目的に高齢者の生きがいと社会参加を促進し、社会的孤立感の解消及び要介護状態への予防を図るため、自治会、福祉推進会等をとおしてコロナ禍で活動休止が続く自粛期間に高齢者が在宅で実践できる地域資源の活用などコーディネートし、地域における支え合い活動を支援した。</p> <p>(自宅で作れるDVD体操・脳トレプリント・手作りマスク等の提供・他地域の活動事例の情報提供)</p> <p>実施地区：6 推進会：6回 利用者：80人</p>				
		具志川地区	石川地区	勝連地区	与那城地区
	実施自治会数	3自治会	2自治会	0自治会	1自治会
	実施回数	3回	2回	0回	1回
	利用者総数	31人	29人	0人	20人
	平均利用者数	10人	15人	0人	20人
	平均対象者数	3人	6人	0人	13人
	平均推進員数	7人	9人	0人	7人
		<p>月2回自主活動：20か所 月1回のみ自主活動：5か所、月1回職員派遣：37か所</p>			
効果	<p>コロナ禍で地域が自主的に活動できるよう情報を提供し、コーディネートすることにより、地域主体で工夫しながら活動を展開できた。</p>				

《事業名》		事業形態	市受託事業		
イ ふれあいコール事業					
	主な財源	市受託金			
	サービス区分	ふれあいコール事業			
実施内容	<p>一人暮らしの高齢者を対象として、電話による定期的な健康状態の確認、心のふれあいや緊急時の迅速な通報・連絡等を行った。</p> <p>実施日 毎週月・水・金（火・木・土：数名の利用者あり）</p> <p>利用実績 4,076名 実人数：34名</p> <p>利用者数 具志川地区：21名 2,274回 石川地区：5名 689回 勝連地区：2名 314回 与那城地区：6名 799回 合計：34名 4,076回</p>				
効果	<p>利用者との心のふれあい、コールに出ない時の緊急連絡先、ケアマネジャー等への迅速な対応ができた。</p>				

ウ 介護保険事業（指定居宅介護支援事業） （介護予防支援事業） （介護予防ケアマネジメント事業）	事業形態	自主事業
	主な財源	介護報酬
	サービス区分	介護保険事業
実施内容	介護保険利用者が日常生活を営むために適切なサービスが利用できるよう利用者本位のプランを提供した。 ・居宅介護支援事業 利用者数：63人 ・介護予防支援事業 利用者数：4人 ・介護予防ケアマネジメント事業 利用者数：5人	
効果	利用者本位のプラン提供に向け家族・多職種連携を図り提供できた。	

エ 介護保険事業 （通所型サービス事業）	事業形態	自主事業
	主な財源	介護保険
	サービス区分	介護保険事業
実施内容	介護保険利用者が日常生活を営むために適切なサービスが利用できるよう利用者本位のサービスを提供した。 ・通所介護事業・・・利用者数：43名 実施日数：308日 ≪市受託事業≫ ・介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービス） 利用者数：10名 実施日数308日	
効果	利用者本位のサービス提供に向け家族・多職種連携を図り提供できた。	

【障がい者（児）の支援】

ア 障害者相談支援事業	事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金
	サービス区分	地域活動支援センター事業
実施内容	障がい者（児）がその有する能力に応じ自立した生活が送れるよう、生活相談支援を行うとともに、障がい者（児）が住み慣れた地域で希望する生活が実現できるよう、生活相談支援を総合的かつ継続的に行った。 委託相談員配置：1名 相談者数：122名（実人員：障がい者75名 障がい児47名） 支援延件数：2,067件（困難ケース対応495件） 相談支援事業所への支援等：277件 うるま市地域自立支援協議会の運営等（各種会議）：67件	
効果	相談者の実情に応じ、効果的な支援へ繋がるよう各種機関と連携し、相談者のニーズに対応することができた。高い専門性と経験値を必要とする事業として、相談者・関係機関からも信頼をいただいている事業であり、今後もさらに充実させていく必要がある。	

イ 障害者地域活動支援センター事業	事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金
	サービス区分	地域活動支援センター事業

実施内容	<p>障がい者がその有する能力に応じ自立した生活が送れるよう、生活相談支援を行うとともに、社会参加活動や創作活動支援をとおして、自立意欲を高め社会復帰と社会参加の促進を図った。</p> <p>また、当事者自身が仲間や地域との交流を通して、意欲と自信を向上させ、自立に向けて取り組むことができるよう働きかけるとともに、生活課題について学習の機会を提供した。</p> <p>登録者数 155名 年間延利用者数 2,965名(開所日数:241日)</p> <p>利用者の実情に応じ、ひとりひとりの可能な限りの自立生活が送れるよう効果的なサービス提供ができるよう取組んだ。ピアサポート活動の充実を目指し、発達障がい者支援センター等と連携し、当事者ミーティングを開始した。</p> <p>実施回数:21回(延参加者数:110名)</p>
効果	障がい者の社会復帰、自立及び社会参加の促進につながった。

ウ 指定特定相談(サービス等利用計画作成)		事業形態	自主事業
	主な財源	自立支援費等収入	
	サービス区分	地域活動支援センター事業	
実施内容	<p>障がい者がその有する能力に応じ自立した生活が送れるよう、生活相談支援を行うとともに、障がい者が住み慣れた地域で希望する生活が実現できるよう、生活相談支援を総合的かつ継続的に行いサービスへ繋がるよう支援を行った。</p> <p>利用者数:154名</p>		
効果	利用者個々のニーズの把握を行いながら、利用者の実情に応じ、効果的なサービスへ繋がるサービス等利用計画づくりができた。		

エ 指定障害児相談支援事業(サービス等利用計画作成)		事業形態	自主事業
	主な財源	自立支援費等収入	
	サービス区分	地域活動支援センター事業	
実施内容	<p>障がい児がその有する能力に応じ自立した生活が送れるよう、生活相談支援を行うとともに、障がい児が住み慣れた地域で希望する生活が実現できるよう、生活相談支援を総合的かつ継続的に行いサービスへ繋がるよう支援を行った。</p> <p>利用者数:44名</p>		
効果	本人、家族の実情を把握しつつ、必要なサービスとの繋ぎや計画的な生活支援のためのプラン作成ができた。		

《事業名》		事業形態	自主事業
オ 指定一般相談支援事業(地域移行・地域定着支援)			
	主な財源	自立支援費等収入	
	サービス区分	地域活動支援センター事業	
実施内容	利用対象者なし		

《事業名》		事業形態	市受託事業
カ 福祉機器リサイクル事業			

	主な財源	市受託金	
	サービス区分	障害者社会参加促進事業	
実施内容	不要になった福祉機器を再利用し、一時的に貸出すことにより、在宅療養者の日常生活の応急的支援をした。 利用件数：166件		
	福祉機器	件数	地区別内訳
	車いす	110件	具志川地区（137件） 石川地区（22件） 勝連地区（1件） 与那城地区（6件）
	松葉杖	8件	
	四点歩行器	19件	
	シャワーチェア	22件	
	ポータブルトイレ	7件	
合計	166件		
効果	病気やケガなどで公的サービスに該当しない方や、介護保険等申請中でサービスを利用できない方へ貸出すことで在宅環境の整備が図れた。		

キ 意思疎通支援事業（要約筆記者派遣事業）		事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金	
	サービス区分	障害者社会参加促進事業	
実施内容	意思疎通を図ることに支障がある障がい者等に、要約筆記等の方法で支援する要約筆記者等を派遣し意思疎通の円滑化を図った。 新型コロナウイルス感染予防対策で行事等の開催縮小があったため、派遣実績が減少した。 派遣回数：24件（団体2、個人0） 派遣者数：9人（延派遣者数：40名） 要約筆記奉仕員：登録者数：13名		
	派遣内容	件数	
	当事者活動（団体）	23件	
	公的機関（訪問相談）	1件	
	その他（個人）	0件	
合計	24件		
効果	意思疎通と図ることに支障のある障がい者等へ支援ができた。		

ク 手話奉仕員養成事業		事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金	
	サービス区分	障害者社会参加促進事業	
実施内容	聴覚障がい者へのコミュニケーション支援を図るため、手話奉仕員の養成講座を開催した。 新型コロナウイルス対策緊急事態宣言による開催実績が減少した。 ①入門講座：15名（修了者：11名） ②スキルアップ講座：8名（修了者：7名） 実施期間：令和2年6月4日～令和3年3月25日（全28回） 講師：神田 朋子（聾講師）、喜屋武 初美（聴講師） ※40回講座を28回で終了、予定していた基礎講座開催ができなかった。		
	効果	入門講座で11名が修了した。	

ケ 点訳奉仕員養成事業		事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金	
	サービス区分	障害者社会参加促進事業	
実施内容	視覚障がい者へ情報支援のために点訳技術を習得する養成講座。今年度は実施なし。		

コ 音訳奉仕員養成事業		事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金	
	サービス区分	障害者社会参加促進事業	
実施内容	文字による情報入手が困難な視覚障がい者のために音声訳技術を習得する養成講座。今年度は実施なし。		

サ 点字・声の広報等発行事業		事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金	
	サービス区分	障害者社会参加促進事業	
実施内容	<p>視覚障がい者に対して、地域生活をする上で必要な情報提供を定期的に行い、社会参加への促進を図ることを目的に実施した。</p> <p>利用者：35名（点字訳：19名、音声訳：16名）</p> <p>利用実績：点字訳 広報うるま 243部 社協だより 20部 カレンダーなし</p> <p>音声訳 広報うるま 200本 社協だより 16本</p> <p>※カレンダーはボランティアサークル点訳工房独自に発行した19部</p>		
効果	視覚障がい者への定期的な情報提供を行うことで社会参加の促進につながった。		

シ 移動支援事業 (リフト付き福祉バス運行事業)		事業形態	市受託事業																																		
	主な財源	市受託金																																			
	サービス区分	障害者社会参加促進事業																																			
実施内容	<p>屋外での移動が困難な障がい者の外出支援のため福祉バスを運行し、地域における自立生活及び社会参加の促進を目的に実施した。</p> <p>実利用者数：41名</p> <p>内容：身体障がい者の外出における移動手段の支援</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>利用内容</th> <th></th> <th>障がい種別</th> <th></th> <th>地区別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院受診等</td> <td>248回</td> <td>視覚障がい</td> <td>131回</td> <td rowspan="2">具志川地区 (317件)</td> </tr> <tr> <td>買い物等</td> <td>55回</td> <td>上肢・ 下肢障がい</td> <td>144回</td> </tr> <tr> <td>視覚障がい者卓球</td> <td>101回</td> <td>聴覚障がい</td> <td>17回</td> <td>(55件)</td> </tr> <tr> <td>公共施設利用</td> <td>3回</td> <td>内部障がい</td> <td>213回</td> <td>勝連地区</td> </tr> <tr> <td>その他(介添え)</td> <td>98回</td> <td></td> <td></td> <td>(77件)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>505回</td> <td>合計</td> <td>505回</td> <td>与那城地区 (56件)</td> </tr> </tbody> </table>			利用内容		障がい種別		地区別	病院受診等	248回	視覚障がい	131回	具志川地区 (317件)	買い物等	55回	上肢・ 下肢障がい	144回	視覚障がい者卓球	101回	聴覚障がい	17回	(55件)	公共施設利用	3回	内部障がい	213回	勝連地区	その他(介添え)	98回			(77件)	合計	505回	合計	505回	与那城地区 (56件)
利用内容		障がい種別		地区別																																	
病院受診等	248回	視覚障がい	131回	具志川地区 (317件)																																	
買い物等	55回	上肢・ 下肢障がい	144回																																		
視覚障がい者卓球	101回	聴覚障がい	17回	(55件)																																	
公共施設利用	3回	内部障がい	213回	勝連地区																																	
その他(介添え)	98回			(77件)																																	
合計	505回	合計	505回	与那城地区 (56件)																																	
効果	旧離島地区の利用者等、移動が困難な障がい者の支援につながった。																																				

【地域生活の支援】

ア 生活福祉資金貸付事務事業		事業形態	県受託事業				
主な財源		県受託金					
サービス区分		生活福祉資金貸付事務事業					
実施内容	低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯を対象に必要な資金を他から受けることが困難な世帯に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行った。						
	1. 貸付けの相談対応・進達事務						
	【通常貸付資金種類別件数】						
	資金種類	緊急小口資金	総合支援資金	福祉資金	教育支援資金	不動産担保	合計
	申請件数	9件	1件	0件	0件	0件	10件
	貸付件数	8件	1件	0件	0件	0件	9件
【特例貸付資金種類別件数】							
資金種類	緊急小口資金	総合支援資金 (初回貸付)	総合支援資金 (延長貸付)	総合支援資金 (再貸付)	合計		
申請件数	2,803件	1,751件	975件	371件	5,900件		
貸付件数	2,802件	1,750件	975件	371件	5,898件		
※特例貸付：新型コロナウイルス感染症の影響による緊急貸付							
2. 滞納世帯への対応及び償還の支援							
※新型コロナウイルス感染拡大により、償還相談会及び訪問指導実施なし。							
①担当職員研修会等への参加 2回							
②民生委員・児童委員との連携							
貸付制度における民生委員・児童委員の役割と制度についての理解と協力を求め、連携して取組んだ							
効果	生活困窮者の自立更生につながった。						

イ 貸付相談事業（福祉金庫）		事業形態	自主事業			
主な財源		共同募金配分金				
サービス区分		共同募金配分金事業				
実施内容	緊急度が高く、生活福祉資金の貸付に該当しないなど、切迫した状況にある世帯へ資金の貸付と必要な相談支援を行った。 貸付件数：3件					
効果	生活費の貸付をとおして、相談者の生活再建につながった。					

ウ 法外援助事業（生活援助、被災者援助）		事業形態	自主事業			
主な財源		共同募金配分金				
サービス区分		共同募金配分金事業				

実施内容	個別支援・地域支援を展開する上で必要に応じて、関係機関と連携し協力体制の構築を図った。また、専門性の向上を目的として各種研修等への参加を行った。(再掲) <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関とのケース検討会議 31回 ・関係機関との連絡会の開催 47回 ・各種研修会への参加 6回
効果	多職種連携による個別支援の展開ができた。

ウ 権利擁護センターの設置と専門員の専門性の向上	事業形態	市受託事業、県受託事業
	主な財源	市受託金、県受託金、利用料
	サービス区分	権利擁護センター事業 日常生活自立支援事業
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・県社協主催専門員オンデマンド研修参加(1日間:4名) ・全社協主催専門員オンデマンド研修参加(1日間:4名) ・成年後見制度研修参加(1日:1名) ・ケース検討会議参加(42回) 	
効果	各種研修への参加・ケース検討会議等を行い、事業を継続実施できる環境整備を行うとともに専門員に必要な知識・技術の向上につながった。	

エ 生活資金貸付事業の相談員の専門性の向上	事業形態	市受託事業
	主な財源	県社協委託金
	サービス区分	生活福祉資金貸付事務事業
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉資金貸付事業担当職員研修会参加(2名) ・緊急小口資金等の特例貸付説明会参加(2名) ・パーソナルサポートセンター支援調整会議(月1回) 	
効果	研修会へ参加し、相談員に必要な知識・相談技術の向上につながった。	

オ ボランティアセンターの設置とコーディネーターの専門性の向上	事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金
	サービス区分	ボランティアセンター運営事業
実施内容	ボランティア活動に関する調査・研究 中部地区社会福祉協議会連絡協議会ボランティア部会 6回 沖縄県社会福祉協議会 災害応援担当職員等研修会 コロナ渦のICTを活用したつながり作り オンラインサロン	
効果	各種研修、地域意見交換への参加をとおしてコーディネーターの資質の向上につながった。また、コロナ渦の中でのICT活用や課題等、必要なボランティアの養成等の視点につながった。	

カ 障害福祉サービス事業所の充実と相談支援専門員等の専門性の向上	事業形態	市受託事業 自主事業
	主な財源	市受託金、自立支援費等収入
	サービス区分	地域活動支援センター事業

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援協議会（就労部会）4回 ・ 怒りのコントロールについての研修会（1日間：1名） ・ マインドフルネス（高次脳機能障害 1日間：1名 ZOOM 研修） ・ 地域カンファレンス 4回 ・ 地域における発達支援システム Q-SACCS（1日間：1名） ・ 引きこもり支援受持者研修（1日間：1名） ・ 障がい者虐待防止研修会参加（1日間：3名） ・ 災害時の心のケア研修（1日間：1名） ・ 中部圏域就労部会研修 企業が求められる人材とは？（1日間：1名） ・ 中部圏域住まい暮らし部会研修（1日間：1名） ・ うるま市相談支援専門員連絡会（7回） ・ メンタルヘルス研修 ・ わくわくプラン研修
効果	<p>各種研修への参加・ケース検討会議等を行い、指定特定相談支援事業が継続実施できる環境整備を図るとともに、相談支援専門員に必要な知識・技術の向上につながった。</p>

キ 介護保険事業所の機能充実と介護職員の専門性の向上	事業形態	自主事業
		主な財源
	サービス区分	介護保険事業
実施内容	<p>安心・安全にサービス提供が出来るように個々に合った必要な知識、技術の習得、職員の倫理観や人権意識の醸成に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅改修オンライン講座（Zoom） 2名 ・ 新型コロナウイルス感染症シミュレーション研修（Zoom） 2名 ・ コロナ感染事業所の報告対応についての研修（Zoom） 2名 ・ 沖縄県介護支援専門員の研修（Zoom）2回 2名 ・ コーチングを上手に活用してモチベーションアップ（Zoom） 1名 ・ 包括支援センター説明会（Zoom） 2名 ・ コロナ禍における多種類連携について（Zoom） 3名 ・ 高齢者施設等における新型コロナ陽性者発生時の初動対応（Zoom）4名 ・ 介護従事者のためのテーマ別技術向上研修（Zoom） 1名 ・ 福祉施設における火災時の安全への備え（Zoom） 2名 ・ 新型コロナウイルス感染症の治療と人生会議（Zoom）2名 ・ 看護師による熱中症予防について勉強会 8名 ・ 事業所内新型コロナウイルス感染拡大防止の対応につて 8名 ・ 自衛消防訓練 実施・勉強会 8名 ・ 新型コロナウイルス感染症対策学習動画 8名 <ol style="list-style-type: none"> ① 新型コロナウイルスとは ② 新型コロナウイルス感染症の症状、重度化リスク、後遺症 ③ 飛沫感染、接触感染 ④ 高齢者施設において新型コロナウイルス感染症が発生した初期対応（前編） ⑤ 高齢者施設において新型コロナウイルス感染症が発生した初期対応（後編） <ul style="list-style-type: none"> ・ その他、個別ケース会議・申し送りなど実施 	
効果	<p>介護労働安定センター・専門職と相談連携を行い専門性が向上した。</p>	

③ ふれあい総合相談支援センターの充実

ア ふれあい総合相談支援センターの運営と相談支援体制の強化		事業形態	市受託事業				
	主な財源	市受託金					
	サービス区分	ふれあい総合相談支援事業					
実施内容	<p>福祉圏域ごとにふれあい総合相談支援センターの設置し、各地区コミュニティソーシャルワーカーが総合相談支援と地域づくり支援に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全地区(統括) うるま市社協本所 1名 ・具志川東地区 うるま市社協本所 1名 ・具志川西地区 うるま市社協本所 1名 ・石川地区 うるま市社協石川支所 1名 ・勝連・与那城地区 うるま市勝連支所 1名 <table border="1"> <tr> <td>延相談支援件数</td> <td>2,299件</td> </tr> <tr> <td>相談支援実人数</td> <td>1,080名</td> </tr> </table>			延相談支援件数	2,299件	相談支援実人数	1,080名
延相談支援件数	2,299件						
相談支援実人数	1,080名						
効果	<p>各地区とも、自治会・民生委員児童委員、関係各機関等と連携しつつ、住民の相談支援に取り組んだ。与那城地区に専属コミュニティソーシャルワーカーを配置することができていない状態が続いており、1人で勝連・与那城地区を担当しているため、人員配置に向けた取り組みが必要。</p>						

④ 地域人材との連携による相談支援の充実

ア 民生委員・児童委員や関係者、機関、団体との連携による地域ニーズの把握		事業形態	—
	主な財源	—	
	サービス区分	—	
実施内容	<p>地福祉ネットワーク組織（見守り隊等）の定例会への参加、民協定例会への参加等により、地域課題の把握や、個別の相談対応等による要支援者の把握を行った。</p>		
効果	<p>民生委員と協働で要支援者を把握し支援することで、負担の軽減を図ることができた。また、各種定例会への参加により地域ニーズの把握を行うことができた。</p>		

⑤ 情報提供の充実

ア 社協だより、ホームページ等の充実		事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金	
	サービス区分	法人運営事業	
実施内容	<p>1. ホームページ 最新更新回数 40回（活動報告 19回、お知らせ 21回） http://www.uruma-shakyo.net/ (5/1 リニューアル) 2. 社協だより 発行回数：3回（7月 No. 22、10月 No. 23、1月 No. 24） 発行部数：40,000部×3回</p>		
効果	<p>ホームページについては、担当者を明確化し昨年5月にリニューアルし、合わせてSNS（フェイスブックやインスタグラム等）で、トピックス等の更新回数を増やし、住民への情報発信を行うことができた。 社協だよりは担当を明確化し発行は3回と、発行回数を計画どおり実施するため取り組み方法の改善が出来た。</p>		

イ 社協及び住民活動を紹介するリーフレットやチラシの発行	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金 市受託金
	サービス区分	共同募金配分金事業 生活支援体制整備事業
実施内容	地域づくり支援事業：地域見守りネットワーク連絡会だより（協定企業） 令和2年度地域福祉活動報告書（冊子） 生活支援体制整備事業：地域資源情報（自治会）	
効果	地域づくり支援事業では、連絡会の報告やトピックスなどを協定企業向けに発信し、各企業が見守り活動に継続的に意識できる仕組みができた。また、各地の小地域福祉活動や地域づくり支援事業の報告等を自治会に発信し、地域でできる支えあい活動の意識化に働きかけた。生活支援体制整備事業では、地域にある社会資源情報を地域ごとに作成、高齢者に配布し行き場の啓発に取組んだ。	

ウ Facebook等のSNSを活用した情報の発信	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	法人運営事業
実施内容	うるま市社会福祉協議会 Facebook ページ http://www.facebook.com/urumashakyo/ ページ更新回数 85回 フォロワー数 184人 インスタグラムでのボランティア情報の発信（ボランティアセンター）	
効果	ページ更新回数が大幅に増加し、社協事業の情報発信に大きく貢献している。今後もホームページとの連携と地域活動紹介の強化を図りたい。	

計画3 人にやさしいまちづくりの推進

① ユニバーサルデザインの普及啓発

ア 障害者地域活動支援センター事業（普及啓発活動）	事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金
	サービス区分	地域活動支援センター事業
実施内容	地域活動支援センター事業、障害者相談支援事業、ボランティアセンター事業が実施する福祉教育活動をとおして、すべての人が安心して暮らせる地域について児童・生徒、住民と共に考え、住民が主体的にその環境づくりに向けた取組みが行えるよう普及啓発を推進した。	
効果	地域活動支援センター、障害者相談支援事業による福祉講話、当事者の体験発表・交流会や、ボランティアセンターによる各学校での福祉教育プログラムの提供をとおして、児童へユニバーサルデザインの啓発が行えた。	

② 移動手段の充実支援

ア 地域づくり支援事業 ※P25 掲載

イ 生活支援体制整備事業 ※P25～29 掲載

計画4 生活困窮者自立支援のための連携強化

① 生活困窮者の自立に向けた支援

ア 生活困窮者自立支援にかかわる各種関係者との連携強化	事業形態		自主事業
	主な財源	—	
	サービス区分	—	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者自立支援にかかわるパーソナルサポートセンター等各種関係機関と連携支援を行った。 生活福祉資金貸付事業や福祉金庫による生活費の貸付を実施した。 法外援助事業によるサービスへ繋ぐための必要な費用の給付を行った。4件 食料提供支援の調整を行った。 		
効果	個別相談にてその生活状況を把握し、生活福祉資金貸付事業や福祉金庫での生活費の貸付け、住宅確保給付金・就労支援・家計支援等、制度の利用など関係機関と連携しながら支援を行うことで、生活の立直しを図ることができた。		

イ 食糧提供支援の調整	事業形態		自主事業
	主な財源	共同募金配分金	
	サービス区分	共同募金配分金事業	
実施内容	生活困窮等による食料提供の必要性または関係機関からの依頼があった際には、フードドライブ窓口に提供のあった食料の提供を実施した。		
効果	フードドライブに提供のあった食料を提供することで、緊急性の高い相談者への対応や、制度への繋ぎ支援・制度の狭間にある相談者への対応を行うことができた。		

計画5 子どもの貧困対策の充実

① 子どもの貧困対策への支援

ア 子ども支援に必要な各種関係者との連携強化	事業形態		自主事業
	主な財源	共同募金配分金	
	サービス区分	共同募金配分金事業	
実施内容	NPO 法人ちゅらゆいととの協働で、子どもの居場所ネットワークへの取り組みを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ①市内子どもの居場所ヒヤリング調査 10/29 (木) 調査団体：田場区自治会・みどり町児童センター 東山団地・からふる田場・居酒屋兼光 10/30 (金) 調査団体：HOPE LOVE・きむたかロビー (志塾フリースクール) ②東山団地情報交換会 12/23 (水)、3/22(月) 		
効果	子どもの居場所の実態を把握することができた。		

イ ひとり親世帯等新入学児童激励事業の実施	事業形態		自主事業
	主な財源	共同募金配分金	
	サービス区分	共同募金配分金事業	
実施内容	具志川地区	49世帯 (51名)	25,500円

	石川地区	19世帯 (19名)	95,000円
	勝連地区	7世帯 (7名)	35,000円
	与那城地区	7世帯 (8名)	40,000円
	合計	82世帯 (85名)	425,000円
効果	新入学児童の入学時費用の一部として必要とする世帯に激励金を支給することができた。		

② 地域の子どもの居場所づくりの推進

※P35～36 掲載

③ 学習支援の場の推進

ア 地域の学習支援活動の支援		事業形態	自主事業、市受託事業
	主な財源	共同募金配分金 市受託金	
	サービス区分	地域づくり支援事業 ボランティアセンター運営事業	
実施内容	<p>1. 平成31年度はボランティアセンターによる自治会による夏休みの学習支援（寺子屋）の場へのボランティア派遣を行っていたが令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施なし。令和3年度は新型コロナウイルスの感染状況を確認し実施検討が必要。</p> <p>2. 子どもの居場所と企業等の社会貢献とのつなぎ支援の実施。 （ボランティアセンター、コミュニティソーシャルワーカー） Eスペースうるま店、塩屋店 日本郵便沖縄支社及び市内郵便局 お菓子御殿 第一生命 (株)沖縄ヤクルト 琉球イオン 識名農園 日本青年会議所 具志川食糧 四樹の会 えんまんランドリー カーブス石川 三和ハウス うるま市農漁村生活研究会 CITIグループ オリオンペーカリー</p>		
効果	活動を推進するための必要な環境づくりに取組めたことで、各地の活動を充実させることができた。		

イ 情報発信による学習支援の場づくり		事業形態	自主事業、市受託事業
	主な財源	共同募金配分金 市受託金	
	サービス区分	地域づくり支援事業 ボランティアセンター運営事業	
実施内容	1. 平成31年度はボランティアセンターによる自治会による夏休みの学習支援（寺子屋）のボランティア募集広報を行ったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施なし。		
効果	コロナ禍で各地域の活動自粛が続く中であるが、活動を止めないで居場		

	所機能と学習の場を維持した団体との連携は継続し、たくさんの企業や地域からの食糧支援等とつなぐことができた。こうした団体から学びつつ、実施可能な活動を地域と一緒に研究していく必要がある。
--	--

計画6 権利擁護の推進

① 日常生活自立支援事業の充実

ア うるま市権利擁護センターの体制、機能の充実	事業形態	市受託事業、県受託事業				
	主な財源	市受託金、県受託金、利用料				
	サービス区分	権利擁護センター事業 日常生活自立支援事業				
実施内容	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき福祉サービス利用援助を行った。					
	1. 相談への対応及び利用援助					
	①うるま市権利擁護センター事業 《市受託事業》					
	ア 相談援助件数：実利用人数 40 名（延 3,358 件）					
	イ 相談援助内容別					
		本事業の利用に関するもの				合計
	内 容	認知症 高齢者	知的障 がい者	精神障 がい者	その他	
	問合せ件数 （制度、事業について）	1 件	0 件	2 件	3 件	6 件
	初回相談件数 （初回相談受付）	4 件	3 件	17 件	8 件	32 件
	上記以外相談援助件数	1,036 件	707 件	1,554 件	61 件	3,358 件
合 計	1,041 件	710 件	1,573 件	72 件	3,396 件	
ウ 契約締結件数等						
	認知症 高齢者	知的障 がい者	精神障 がい者	その他	合 計	
実利用者数 40 人	0 件	1 件	2 件	0 件	3 件	
エ 生活支援員数：登録者 22 名（うち活動者数：20 名）						
オ 支援状況						
生活支援員対応状況 （定期支援）		専門員対応状況 （訪問調査・金銭管理支援・福祉サービス 利用援助等）				
61 件		3,358 件				
②日常生活自立支援事業《県社協受託事業》						

<p>ア 相談援助件数：実利用人数 39 名（延 2,986 件）</p> <p>イ 相談援助内容別</p>					
内 容	本事業の利用に関するもの				合計
	認知症 高齢者	知的障 がい者	精神障 がい者	その他	
問合せ件数 （制度、事業 について）	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
初回相談件数 （初回相談受 付）	1 件	0 件	0 件	0 件	1 件
上記以外相談 援助件数	218 件	961 件	1,756 件	51 件	2,986 件
合 計	219 件	961 件	1,756 件	51 件	2,987 件
<p>ウ 契約締結件数等</p>					
	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神障 がい者	その他	合 計
実利用者数 39 人	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
<p>エ 生活支援員数：登録者 22 名（うち活動者数：20 名）</p> <p>オ 支援状況</p>					
生活支援員対応状況 （定期支援）		専門員対応状況 （訪問調査・金銭管理支援・福祉サービス 利用援助等）			
102 件		2,986 件			
効果	待機者の解消や利用者ニーズに基づいた支援に取り組んできた。日常生活自立支援事業においては、6 名を新規契約。うるま市権利擁護センター事業においては、成年後見移行等解約により利用者 2 名の契約を終結。待機者の解消に向けて計画的に新規利用者の受入れ準備を進めていく。				

イ 専門員の配置と支援員の担い手の確保		事業形態	市受託事業、県受託事業
	主な財源	市受託金、県受託金、 利用料	
	サービス区分	権利擁護センター事業 日常生活自立支援事業	
実施内容	専門員 3 名、常勤支援員 1 名、登録支援員 22 名にて実施。		
効果	地域より情報を得ながら、生活支援員の協力依頼を行ってきたが、新規確保は 1 名。継続的な担い手の確保に向けた検討を進めていく。		

ウ 緊急預かり支援事業の継続的实施		事業形態	自主事業
	主な財源	—	
	サービス区分	—	
実施内容	介護長寿課及び障がい福祉課からの依頼により、新規契約 15 件。他制度		

	へ8件移行。15件が契約継続となっている。
効果	昨年度同様受入れ件数の上限を超えている。上記事業利用者の成年後見移行や自立終結等の待機者解消を進めつつ、受入れ件数の適正化を目指す。

② 成年後見制度の利用支援

ア 成年後見制度の周知と利用案内	事業形態	自主事業
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	うるま市権利擁護センター事業による相談支援 (成年後見制度案内：2件)	
効果	専門員による相談支援をとおして、相談者の実情にあわせた適切な支援につなげることができた。	

イ 日常生活自立支援事業から成年後見制度利用への移行支援	事業形態	—
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	うるま市権利擁護センター事業から成年後見制度へのつなぎ支援 1件 市長申立て依頼中。申立て手続きに時間を要している。	
効果	利用者の判断能力の実情を把握し、判断能力にあわせた権利擁護のための適切な支援に移行した。	

③ 虐待等防止の普及啓発及び支援

ア 小地域ネットワークとの協働による虐待の未然防止及び早期発見・解決	事業形態	—
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	小地域福祉活動定例会、相談支援活動をとおして、児童、障がい者、高齢者の虐待を早期発見、専門機関につなぎ支援を行った。また、未然防止のための要支援世帯の把握、つなぎ支援を行った。	
効果	地域からの気になる情報に基づき、早期把握、早期介入、つなぎ支援を行ったことで、被虐待者と虐待者双方への必要な支援がされることで、虐待を防ぐことができた。	

イ 住民、企業、福祉事業所、学校等への虐待防止に関する普及啓発の実施	事業形態	—
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	障害者地域活動支援センター、障害者相談支援事業をとおして、学校等への正しい障がいの理解や対応について啓発し、虐待防止に関する情報提供を行った。また、福祉事業所や住民への普及啓発のための各種研修会等へ協力した。 ボランティアセンター事業での福祉教育学習をとおして、児童・生徒への人権意識の醸成に取り組んだ。	
効果	様々な生活のしづらさを抱える当事者の体験発表や交流の機会をとおして、障がいに対する正しい理解と人権意識の醸成につながった。	